

ベトンテック(エヴァタイム)

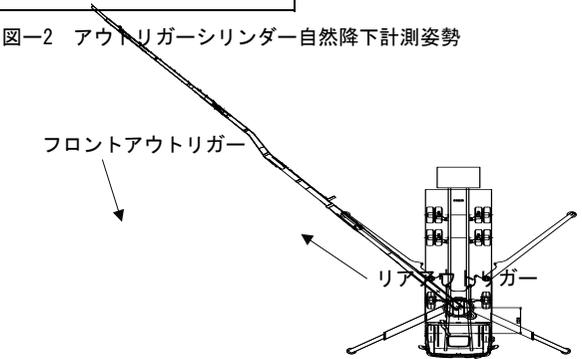
適用範囲		モデル名			ECP38RZJ1	
		主仕様	吸吐弁形式	-		
			最大吐出量	m <sup>3</sup> /h	150(108)	
			最大吐出圧力	Mpa	8.7(13)	
			アーム最大地上高	m		
適用号機						
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値		
圧送装置	ポンプ本体	ピストンストローク回数	回/min	36		
		ローター回転数	回/min			
カクハツウチ 攪拌装置	カクハツウチ 攪拌装置	(油圧ポンプ回転数)	(min <sup>-1</sup> )	( 2660 )		
		(エンジン回転数)	(min <sup>-1</sup> )	( 1750±50 )		
作業装置	シリンダー 自然降下量	(作動油温度)	(°C)	( 50±10 )		
		回転速度	min <sup>-1</sup>	±		
		チェーンのたわみ	mm			
		(油圧ポンプ回転数)	(min <sup>-1</sup> )	( 2660 )		
		(エンジン回転数)	(min <sup>-1</sup> )	( 1750±50 )		
	ブーム装置	ブーム(1)シリンダー ブーム(2)シリンダー ブーム(3)シリンダー ブーム(4)シリンダー ブーム(5)シリンダー	(測定時間)	(min)	10	
			(作動計測条件)		( )	
			(作業装置姿勢)	[図面No.]	[図面No. 1 ]	
			ブーム(1) 伸び	sec	53sec ± 15%	
			ブーム(1) 縮み	sec	53sec ± 15%	
☆ ブームシリンダー 作動時間	ブーム(2) 伸び ブーム(2) 縮み ブーム(3) 伸び ブーム(3) 縮み ブーム(4) 伸び ブーム(4) 縮み ブーム(5) 伸び ブーム(5) 縮み	ブーム(2) 伸び	sec	83sec ± 15%		
		ブーム(2) 縮み	sec	83sec ± 15%		
		ブーム(3) 伸び	sec	74sec ± 15%		
		ブーム(3) 縮み	sec	74sec ± 15%		
		ブーム(4) 伸び	sec	69sec ± 15%		
		ブーム(4) 縮み	sec	69sec ± 15%		
		ブーム(5) 伸び	sec	43sec ± 15%		
ブーム(5) 縮み	sec	43sec ± 15%				
洗浄装置	水ポンプ (配管洗浄用) 空圧機	吐出圧力	油圧 水圧 飛距離	Mpa Mpa m		
		吐出圧力		MPa	3	
		(油圧ポンプ回転数)	(min <sup>-1</sup> )	( 2660 )		
		(エンジン回転数)	(min <sup>-1</sup> )	( 1750±50 )		
		(作動油温度)	(°C)	( 50±10 )		

☆印：新車基準値を表す(参考値)

適用範囲		モデル名			ECP38RZJ1	
		主仕様	吸吐弁形式	-		
			最大吐出量	m <sup>3</sup> /h	150(108)	
			最大吐出圧力	Mpa	8.7(13)	
			アーム最大地上高	m		
適用号機						
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値		
油圧装置	☆ 油圧機器 セット圧	主油ポンプ油圧	MPa	35±2		
		弁シリンダー油圧	MPa	38±2		
		攪拌モータ油圧	MPa	19±1		
		ブーム油圧	MPa	38±2		
		ACCガス封入圧力	MPa	9±0.5		
車体・安全装置	☆ 旋回ベアリング 取付ボルトの締め付けトルク	外輪取付けボルトの締め付けトルク	N・m	966		
		内輪取付けボルトの締め付けトルク	N・m	966		
		旋回ベアリングの交換基準	年			
		旋回速度	sec	210 ± 15%		
		☆ 旋回作動速度	(旋回作動角度)	(度)	-360	
☆ 旋回作動速度	☆ 旋回作動速度	(油圧ポンプ回転数)	(min <sup>-1</sup> )	( 2660 )		
		(エンジン回転数)	(min <sup>-1</sup> )	( 1750±50 )		
☆ 旋回作動速度	☆ 旋回作動速度	(作動油温度)	(°C)	( 50±10 )		
		各垂直シリンダー	mm	1		
☆ 旋回作動速度	☆ 旋回作動速度	(測定時間)	(min)	10		
		(作業装置姿勢)	[図面No.]	( ) [図面No.2 ]		
特記事項						

☆印：新車基準値を表す(参考値)

### ベントテック(エヴァダイム)

項目	測定方法	計測姿勢
ブームシリンダー 自然降下	アウトリガーを最大に張り出し、ブームをまっすぐに伸ばした状態で保持する。各ブームシリンダーにダイヤルゲージを取り付け、10分間の自然降下量を計測する。ブーム先端に荷重は加えない。	 <p>図-1 ブームシリンダー自然降下計測姿勢</p>
アウトリガーシリンダー 自然降下	ブームを水平に伸ばし、測定対象のアウトリガーの真上に置く、アウトリガーにダイヤルゲージを取り付け、10分間の自然降下量を計測する	 <p>図-2 アウトリガーシリンダー自然降下計測姿勢</p>

項目	測定方法	計測姿勢
ブーム旋回 作動速度	アウトリガーを最大に張り出し、各ブームシリンダーの全ストロークの作動時間をストップウォッチで計測する	<p>図-2 ブーム作動速度測定姿勢</p> 